



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	3,463	△1.7	△33	—	△44	—	△44	—
28年2月期第1四半期	3,524	5.2	△66	—	△32	—	△99	—

(注)包括利益 29年2月期第1四半期 △36百万円 (—%) 28年2月期第1四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	△5.60	—
28年2月期第1四半期	△12.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	8,503	1,725	20.2
28年2月期	8,169	1,771	21.6

(参考)自己資本 29年2月期第1四半期 1,720百万円 28年2月期 1,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	1.50	—	1.50	3.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	1.50	—	1.50	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,395	6.1	9	—	0	—	△7	—	△0.88
通期	15,000	8.5	150	108.1	120	65.8	44	—	5.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	8,196,400 株	28年2月期	8,196,400 株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	200,035 株	28年2月期	200,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	7,996,365 株	28年2月期1Q	7,996,365 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済政策を背景に、緩やかな景気回復基調が続きましたが、不安定な為替相場、株安及び消費税率引上げの延期により、依然として先行きに不透明感を残す状況が続いております。

外食業界におきましては、個人消費の伸び悩みや原材料価格の高騰に加え、人材不足による採用費や人件費の上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、平成28年3月にグループ組織再編を行ない、飲食事業では、業態等に応じた複数の子会社を中核子会社の株式会社ジェイプロジェクトに集約し、店舗運営ノウハウの共有と機動力の向上、そして運営体制の強化を図るとともに、不動産事業及びその他の事業を営む機能子会社についても集約をすることにより、業務の効率化を進めました。

また、10店舗を新規出店し、2店舗をリニューアルするとともに、1店舗を閉店いたしました。これらにより、平成28年5月末日現在の業態数及び店舗数は、68業態141店舗(国内139店舗、海外2店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,463百万円(前年同期比1.7%減)となりましたが、新規出店によるイニシャルコストの増加により、営業損失は33百万円(前年同期は営業損失66百万円)、経常損失は44百万円(前年同期は経常損失32百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は44百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失99百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

原材料価格の高騰傾向が顕著となっておりますので、メニュー内容の見直しに取り組みました。主な新規出店といたしましては、平成28年3月に「PIT TAVERN栄店」(名古屋市中区)、「芋蔵四日市店」及び「tan tan四日市店」(三重県四日市市)、「ほっこりパンコク」(タイ、バンコク)、4月に「猷」(名古屋市中区)、「四七四七につぼん名駅店」(名古屋市中村区)、「芋蔵姫路店」(兵庫県姫路市)、5月に「四七四七につぼん刈谷店」(愛知県刈谷市)、「串星」及び「吟醸マグロ」(名古屋市中区)を新規オープンし、「PIT TAVERN名駅店」及び「パクオリ」(名古屋市中村区)をリニューアルオープンいたしました。

また、「芋蔵錦糸町店」(東京都墨田区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は3,096百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は96百万円(同14.9%増)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「ジェイグロス大曽根」が収益に寄与し、また、平成28年5月に名古屋市中区にテナントビル「jG金山」を新たに開設いたしました。

その結果、不動産事業における売上高は463百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は44百万円(同10.6%増)となりました。

③ プライダル事業

「LUCENT Mariage Tower(ルーセントマリアージュタワー)」について、強みである高層階からの景観が名古屋駅周辺の開発工事により悪化し、成約率が低下いたしました。

その結果、プライダル事業における売上高は209百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益は13百万円(同4.9%増)となりました。

④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は229百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は7百万円(同11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,503百万円(前連結会計年度末比333百万円増加)となり、負債は6,778百万円(同380百万円増加)、純資産は1,725百万円(同46百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で61百万円増加し1,112百万円となりました。これは、売掛金が72百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し7,388百万円となりました。これは、新規出店等により有形固定資産が267百万円増加したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ377百万円増加し2,949百万円となりました。これは、未払金が311百万円、短期借入金が24百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し3,829百万円となりました。これは、資産除去債務が2百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、利益剰余金が56百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し1,725百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月8日公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして、現時点での修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	289,872	223,169
売掛金	335,802	408,466
商品及び製品	292	259
原材料及び貯蔵品	96,457	107,114
その他	347,346	392,147
貸倒引当金	△18,343	△18,343
流動資産合計	1,051,425	1,112,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,084,190	3,444,487
土地	1,774,733	1,775,243
その他(純額)	705,309	612,156
有形固定資産合計	5,564,233	5,831,886
無形固定資産	40,091	36,467
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,220
差入保証金	1,285,569	1,282,209
その他	220,360	232,844
貸倒引当金	△2,675	△2,675
投資その他の資産合計	1,511,474	1,520,598
固定資産合計	7,115,800	7,388,953
繰延資産		
株式交付費	570	-
社債発行費	2,011	1,817
繰延資産合計	2,581	1,817
資産合計	8,169,807	8,503,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	412,008	419,669
短期借入金	17,400	41,600
1年内返済予定の長期借入金	967,442	957,740
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	706,024	1,017,257
未払法人税等	50,882	37,237
賞与引当金	5,000	5,946
その他	366,525	423,725
流動負債合計	2,571,282	2,949,176
固定負債		
社債	92,000	79,000
長期借入金	3,361,668	3,310,801
資産除去債務	71,347	73,408
その他	301,949	366,102
固定負債合計	3,826,965	3,829,312
負債合計	6,398,247	6,778,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	△179,274	△236,080
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	1,812,641	1,755,835
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△47,787	△35,378
その他の包括利益累計額合計	△47,787	△35,378
新株予約権	3,438	3,438
非支配株主持分	3,268	1,199
純資産合計	1,771,560	1,725,094
負債純資産合計	8,169,807	8,503,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年 5月31日)	第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28 年5月31日)
売上高	3,524,640	3,463,728
売上原価	1,103,397	1,077,697
売上総利益	2,421,243	2,386,030
販売費及び一般管理費	2,487,699	2,419,112
営業損失(△)	△66,456	△33,081
営業外収益		
受取利息	155	105
協賛金収入	52,129	21,276
設備賃貸料	2,847	2,464
その他	11,081	3,657
営業外収益合計	66,214	27,503
営業外費用		
支払利息	16,560	17,928
為替差損	2,673	13,769
その他	13,266	7,323
営業外費用合計	32,501	39,021
経常損失(△)	△32,743	△44,598
特別利益		
固定資産売却益	-	1,737
特別利益合計	-	1,737
特別損失		
店舗閉鎖損失	23,736	14,055
特別損失合計	23,736	14,055
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,479	△56,917
法人税等	43,490	△7,608
四半期純損失(△)	△99,970	△49,308
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△4,497
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△99,970	△44,811

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年5月31日)
四半期純損失(△)	△99,970	△49,308
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△636	12,408
その他の包括利益合計	△636	12,408
四半期包括利益	△100,606	△36,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,606	△32,613
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△4,286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,137,089	60,572	228,696	3,426,357	98,282	3,524,640	—	3,524,640
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,708	390,686	—	413,394	133,138	546,533	△546,533	—
計	3,159,797	451,259	228,696	3,839,752	231,421	4,071,174	△546,533	3,524,640
セグメント利益又は 損失(△)	83,850	40,380	12,613	136,844	9,055	145,900	△212,356	△66,456

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △212,356千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,073,338	59,564	209,366	3,342,268	121,459	3,463,728	—	3,463,728
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,938	403,878	—	426,816	107,600	534,416	△534,416	—
計	3,096,276	463,442	209,366	3,769,085	229,059	3,998,144	△534,416	3,463,728
セグメント利益又は 損失(△)	96,327	44,647	13,226	154,201	7,979	162,181	△195,262	△33,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△195,262千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。